



Satellite Evening Seminar

日時 : 2010年9月3日(金) 18:30~20:00

会場 : 学術総合センター (東京都千代田区一ツ橋 2-1-2)

座長 昭和大学医学部 神経内科教授 河村 満

How to successfully combine CBT with medication and how and when to discontinue medication in the management of chronic insomnia

慢性不眠の治療を成功させるために、どのように認知行動療法を薬物療法と組み合わせるのか、そしていつ、どのように薬物療法を中止するべきなのか

Professor Charles M. Morin Ph.D.

École de Psychologie, Université Laval, Canada

(同時通訳付)

Charles M. Morin 先生のご紹介と本セミナーのねらい

Charles Morin 先生は、1986年にFloridaのNova Universityにて臨床心理学の博士号を取得、その後、Virginia Commonwealth Universityにて睡眠医学のpost-doctoral fellowshipを1987年に終了、1994年まで同大学の精神医学講座の教授および睡眠障害センターのdirectorとして勤務されてきました。現在は、Quebec CityにあるUniversité Lavalの心理学講座の教授および睡眠研究センターのdirectorを務められています。この間、一貫して不眠の心理療法・行動療法の開発、有効性の評価、そしてこれらの治療方法の啓発に尽力してこられました。

今回のセミナーでは、認知行動療法(cognitive behavioral therapy, CBT)になじみのない医療従事者のために、前半においては、不眠の本質、鑑別診断、そしてCBTの基本的な原則について解説していただきます。後半では、CBTというアプローチの不眠治療に対する有効性について、現時点で得られるエビデンスについてまとめるとともにCBTを(薬物治療を併用する場合、併用しない場合を含めて)どのように不眠治療全般に組み入れていくことができるかについて、お話しいただく予定です。そして、最後のしめくりとして、長期にわたって睡眠薬を服用している患者の場合、どのようにそれを中止させることができるかについて述べていただきます。